

大阪大学共創 DAY@EXPOCITY 「大阪大学とあそぼう」

植原 邦佳

技術部 教室系技術職員

平成30年11月17日(土)に開催された大阪大学共創 DAY@EXPOCITY『大阪大学とあそぼう』において、接合科学研究所からもブースを出展しました。

『大阪大学とあそぼう』は、会場の「ららぽーとEXPOCITY」の各所にブースを設置し、大阪大学が有する様々な研究の成果や貴重な資料を分かりやすく紹介することで、広く一般の方々に大阪大学を身近に感じていただくことを目的としたイベントです。大阪大学の各部局や各専攻、研究室、学生クラブの様々な単位でブースが出展されました。

接合科学研究所は、「スタンドグラスで接合体験」と題して、はんだ付けを通して接合科学を身近に感じていただくブースとしました。具体的には、4色の板ガラスをつなぎ合わせて作る「スタンドグラス」、ガラス製おはじきをつなぎ合わせて作る「おはじきキーホルダ」、電子工作によりLEDを光らせて製作する「ガラス装飾ランプ」の3種類を体験していただきました。

接合科学研究所ブースは、イベント開始直後からたくさんのお客様にご来場いただき、イベント終了までに計78名の小学生を中心とした皆様に接合体験をしていただくことができました。

真剣な眼差しで“はんだごて”を扱う様子や出来上がった作品を嬉しそうに見せる姿、感謝のお言葉を下さる保護者の方々に、こちらまで心が温かくなる一日となりました。また、はんだ付けを終え、LEDが点灯した瞬間にはあっと輝く子供たちの笑顔を見て、私達も初心に戻って、「くつつける」という接合技術によるものづくりの感動を共有出来たように感じました。

さらに、体験後に記入いただいたアンケートでは、「すべてが初めてで楽しかった」「溶かすのがおもしろかった」「はんだ付けが楽しい」「くつつけるのが楽しかった」と、初めての体験を楽しみながらしっかりと接合を感じていただけた様子が伺えました。

一般市民(子供)向けの体験イベントは、研究所として初の試みでありましたが、たくさんの方に「接合」を、そしてものづくりの面白さを感じていただく絶好の機会となりました。この経験を今後活かしていきたいと思えます。



スタンドグラス



おはじき
キーホルダ



ガラス装飾ランプ

体験メニュー



受付の様子



スタンドグラス作り体験



接合科学研究所ブース集合写真



接合科学研究所ブースの様子



おはじきキーホルダ作り体験



ワニ博士も来場



本部企画でシールラリーも行われました